

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



ベンジャミン・バトン
(映画 DVD)
ワーナー・ホーム・ビデオ

数奇な人生

黒人女性のクイニーはある日、置き去りにされた赤ん坊を拾う。ベンジャミンと名付けられたその男の子は、すぐにクイニーが営む施設の老人たちの中に溶け込んでいった。なぜなら、彼は80歳の老人の姿で生まれてきたのだ。やがてベンジャミンは車椅子から立ち上がって歩きだし、しわが減り、髪が増えていき…。年を重ねるごとに若返っていく一人の男の数奇な人生の旅路を描く。(167分)



建具職人の千太郎
(児童書)
作／岩崎京子 刊／くもん出版

江戸時代の終わりごろ。千太郎はわずか7歳で奉公に出されることになった。奉公先は建具屋「建喜」。まだ遊んでいた盛り千太郎には職人になろうという気はさらさらないが、先に奉公に来ていた姉に励まされたり、建喜の職人たちとのふれあいの中で、いつしか自分も腕のいい職人になりたいと思い始める。江戸の庶民の暮らしと心根を丹念に描いた長編。



新参者
(一般書)
著／東野圭吾 刊／講談社

江戸の匂いが残る東京・日本橋。この一角で、一人暮らしの40代女性の絞殺死体が発見された。「どうして、あんなにいい人が…。」周囲が声を重ねる彼女の身に何が起きていたのか。着任したばかりの刑事、加賀恭一郎は、立ちはだかる人情という謎を解き明かすため、未知の土地を歩き回る。それぞれの家族が抱える問題と家族に対する思いやり。それが事件の原因となる。

だいせつざんのすがお

大雪山の素顔

山岳ガイド、旭岳ビジターセンター、自然解説員などで活躍する人たちをリレーしています。高山植物、紅葉、雪、動物など「自然の大博物館」といわれる大雪山の素顔が見えてきます。

エゾクロテンの気持ち

11月は別名霜月ですが、旭岳では雪の月です。毎日降る雪は、次第にササや低木、地面の凸凹を隠していきます。積み重なった雪面は真白な画用紙。その上には冬も活動する動物たちの足跡が残っています。

深い森にすむエゾクロテンは、敏しょうでほとんど人目に触れません。でも冬には足跡を手がかりに暮らしぶりをイメージすることができます。

木から木へと巡り歩いているのは、ネズミの巣穴が根元近くにあるからでしょうか。雪の重みで下がったエゾマツの枝の手前で足跡が途切れることもあります。

ここから木に登ったのでしょうか。木登りはお得意で、眠る時も樹洞を使うことが多いそうです。足跡は幹の反対側から再び始まり、スタート地点は普段より深め。高い枝から飛び降りたのかもしれませんが。トンネルを掘って進んでいることもあります。

つい雪の上を自在に駆け回って遊んでいるように錯覚してしまいますが、おそらく真剣に獲物を探している途中。テンのような肉食動物にとっても、食

べられる側の草食動物にとっても、エサの乏しい冬です。

近年、生活の場である森が道路などで分断されることが多くなっているそうです。

森の中では上手に人間から隠れるエゾクロテンですが、車道を猛スピードで横切っていることがあります。見ることはできるのはうれしいのですが、車を運転しながら複雑な気分になります。

道南地方では、毛皮生産のために本州から持ち込まれたニホンテンとの競合が心配されています。

私たちとエゾクロテンがこれからもずっと隣で暮らすために、何を工夫したらよいのでしょうか。

いつの日か旭岳の雪の森でエゾクロテンを見たいと思っています。

野生動物の行動を知ろうと大切なことは、動物の気持ちになってみることでさうです。何でもそろそろ街のスーパーにいる時、ストーブで部屋を暖かくしたい時、極寒の森で狩りをするテンのことを考えることがあります。

「やっぱり野生動物の気持ちになるのは無理かな…」と思うこともありますが、この冬も雪の上の足跡をたどりながら歩いてみることにします。

文、イラストとも：旭岳ビジターセンター 田上 千尋



◀エゾクロテンはイタチの仲間。四肢の先が黒っぽく、他は金色から茶色の毛に覆われる。胴の長さはニホンネコ程度で全体的に細長い。